

国際理解教育/開発教育 学習指導 (活動) 案

【実践者】

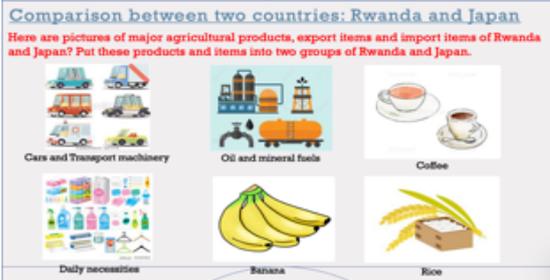
授業者氏名	木嶋勇一	学校名	私立市原中央高等学校
教科 (科目)・領域	外国語 (英語) コ英Ⅲ	対象学年 (人数)	3年3組 GLC (14名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2021年10月 ~2021年11月 (8時間)		

【実施概要】

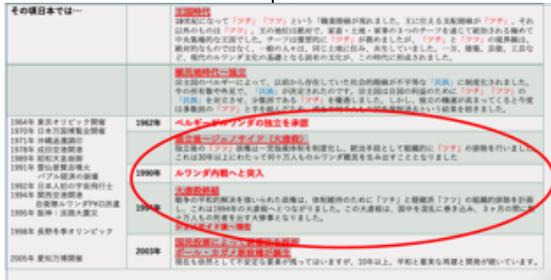
1. 単元名 (活動名) : アフリカでの起業に挑戦 : 『ルワンダの人たちのために、何ができるだろうか』					
2. 実践する教科・領域 : コミュニケーション英語Ⅲ ～アフリカでの起業に挑戦～ 『ルワンダの人たちのために、何が できるだろうか』	3. 学習領域				
		1	2	3	4
	A 多文化社会	文化理解	文化交流	多文化共生	
	B グローバル社会	相互依存	情報化		
	C 地球的課題	人権	環境	平和	開発
D 未来への選択	歴史認識	市民意識	社会参加		
4. 単元の目標 (評価規準を意識して設定) :					
①ルワンダについての学びを通して、アントレプレナー体験をしながら、英語によるグループプレゼンテーションとディスカッションを行う。					
②ルワンダについての理解を深めると同時に課題を発見し、自分ならばどうすれば解決に向けて取り組むことができるかについて考える。					
5. 単元の 評価規準	①知識及び技能	ルワンダの過去・現在・未来について学び、文化・歴史・風土について理解している。			
	②思考力、判断力、表現力等	ルワンダで暮らす人々の生活について学び、問題解決につながる起業案について計画し、発表ができる。			
	③学びに向かう力	他者との意見や考えを交えながら協働し、問題解決に向けた具体的な行動にまで結びつけることができる。			

<p>6. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)</p>	<p>【単元設定の理由あるいは単元の意義】 1994年の紛争集結後、「アフリカの奇跡」と呼ばれるほどの経済成長を果たすルワンダについて、様々な困難や問題を「ジブンゴト」として捉えるとともに、アントレプレナーを体験することで、自分自身の可能性にも気づく機会とさせたい。社会において、「正解のない問い」に取り組む機会が増え、自分の考えを組み立て、思考する力が求められるようになってきており、ルワンダの過去と現在、未来について考えながら、自分の身のまわりと社会で起きていることに目を向けさせたい。</p> <p>【児童/生徒観】 グローバルリーダーコースに所属する生徒であり、日頃から国際社会において起きている課題やSDGsに関する意識は高い。また、ペアやグループごとのアクティブラーニングも多く実施し、ICTを活用した授業も広く展開している。ゼロから計画をスタートするアントレプレナーにつながる授業は、初めての経験ではあるが、ルワンダについての学習を通して『ルワンダの人たちのために、自らができること』を考えて英語で発表することで、将来的には具体的な行動に移せる人材となることを期待している。</p> <p>【教材観】 東京オリンピック2020が開催されたことで、教科書で学んだ「古代オリンピックと近代オリンピックの違い」に関する英文の理解が深まることと考える。特に、急速な発展を遂げているルワンダに関する資料（静止画・動画）を通して学んだり、元JICA職員の講演を聞くことで、様々な課題について真剣に捉え、自分なりの解決策を見出すことができる。</p> <p>【指導観】 心の通ったコミュニケーションを行うためには、まず相手の国の文化や歴史を学ぶことが重要だと考える。さらに、「外国語を学び、身につけた外国語を使って他人のために役立つこと」は、外国語を学ぶ大きな意義の1つでもある。学校の授業では扱われることが少ない、国際理解教育の一端として、途上国の文化や歴史に目を向けることで「自分にもできる何かがあること」に気づいてもらいたい。そして、将来、現地に趣き、実際に人々と言葉を交わしながら、新たな「変革」をもたらす人材となるきっかけとしたい。</p>
--	---

7. 単元計画 (全8時間)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	[導入] 『ルワンダについて知る』 ルワンダを紹介し、アフリカにあるルワンダという国に関心を持てるようにする。(位置、気候、特徴など)	<ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック 2020 における出場国紹介の写真及び動画を見せて、どの国かを推測する。 学んだことについて書かせ、活動について自己評価を行う。 	「世界の国を知る・世界の国から学ぶ わたしたちの地球と未来 ルワンダ共和国」財団法人愛知県国際交流協会
2 本時	[知る][理解する] 『ルワンダと日本を比較する』 JICA 動画の視聴と資料を通してルワンダと日本を比較し、ルワンダの人々の日常生活について理解するとともに国民性についても考える。	<ul style="list-style-type: none"> ルワンダと日本の農作物・輸出入品目を中心に産業を比較する。 動画を視聴する。 学んだことについて書かせ、活動について自己評価を行う。 	JICA DVD 世界につながる教室 「水と世界」を知る映像
3	[知る][理解する][考える] 『ルワンダ内戦について学び、対立を回避する方法について考える』 ルワンダ内戦を説明する動画の視聴を通して対立の構図について学び、「対立を助長するもの」、「対立を内在するもの」という観点から、回避する方法について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 対立を助長するもの、「対立を内在するもの」についてグループで考え、発表をする。また、対立を回避する方法について考え、発表をする。 現在のルワンダの人々の生活について紹介をするとともに、IT 立国として未来に向けて進んでいることを理解する。 学んだことについて書かせ、活動について自己評価を行う。 	動画 YouTube
4	[知る][理解する] 元 JICA 職員から、ルワンダ内戦の詳しい状況について学び、『ルワンダの人たちのために、自分ができること』について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 講演を通して学んだことについて書かせ、活動について自己評価を行う。 	元 JICA 職員講師
5 6 7	[理解する][考える] ルワンダの歴史や文化を学び、ワークシートを活用して、『ルワンダの人たちのために、自分ができること』についてグループで話し合い、グループプレゼンテーションの準備をする。	<ul style="list-style-type: none"> 課題の解決につながるビジネスプランを考え、グループごとに考え、プレゼンテーションの準備をする。 活動について自己評価を行う。 	ワークシート
8	[表現する] グループごとにまとめたビジネスプランを発表し、クラスで共有をする	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスプランを Power Point を用いて、発表をする。 学んだことについて書かせ、活動について自己評価を行う。 	ワークシート Power Point

8. 本時の展開 (概略)			
本時のねらい: ルワンダで暮らす人々の生活の様子や産業について理解し、日本との共通性や違いについて考えながら、自分の意見を英語で積極的に発表をする。			
過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (3分)	<p>「前回の授業で、ルワンダという国について紹介をしました。ルワンダについて、自分で何か調べたことがありますか」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・IT 立国としての取り組みについて調べました。 ・ルワンダ内戦について調べました。 	<p>生徒から発言のあった際は、自ら調べたものについて説明をさせ、共有する。</p>	
展開1 (12分)	<p>「2つの写真をみてください。どちらが日本の写真でしょうか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左の写真だと思います。 ・どちらも同じじゃないか。 <p>「左がルワンダの段々畑で、右が日本の棚田です。どちらも綺麗に整備されていますね。日本人と同様に、ルワンダの人の勤勉さや協調性、計画性が感じられます。」</p> <p>「ここで、ルワンダの人々の生活の様子を動画で見てみましょう。」</p> <p>「動画を見て、感じたことをグループに分かれて話しあってください。」</p> <p>「各グループであった感想を発表して下さい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業が盛んなのに水の問題があったことに驚いた。 ・みんなが笑顔で明るかった。 ・日本と似ているところがあった。 	<p>ルワンダも日本も古くから農業生産に取り組み、国民性に共通点が多く見られることを共有する。</p> <p>動画を見て、感じたことを発表させ、共有する。</p> <p>ルワンダと日本の関わりについて、意識を持たせる。</p>	<p>スライド</p>  <p>JICA DVD 世界につながる教室 「水と世界」を知る映像</p>
展開2 (10分)	<p>「ワークシートを見て下さい。ここには、ルワンダと日本の農産物、輸入品、輸出品が描かれています。これらをそれぞれ、ルワンダのものと日本のものに分けて下さい。」</p> <p>「各グループで、結果を比較してみてください。」</p> <p>「1つのグループに代表で、前で解答を発表してもらいます。」</p> <p>「なぜ、このようなグループ分けとなったか教えて下さい。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物について、日本はお米が中心と思ったから。 ・輸入品と輸出品目について、日本は重工業が盛んだと考えたから。 	<p>ルワンダと日本の農作物・輸出入品目を比較し、産業についての理解を深めさせる。</p>	<p>スライド、ワークシート</p> 

	<p>「解答を確認してみましょう。ルワンダの内陸部では、物資が不足しがちです。ルワンダの人たちは、道具や材料に様々な工夫をして対応をしています。みなさんは、ルワンダの人たちのような工夫ができそうですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なんとなくできそうな気がします。 ・代わりになりそうなものを思いつくこともできません。 	<p>Comparison between two countries: Rwanda and Japan</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Rwanda</th> <th>Japan</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Agricultural Products</td> <td> Banana</td> <td> Rice</td> </tr> <tr> <td>Import Items</td> <td> Daily necessities</td> <td> Oil and mineral fuels</td> </tr> <tr> <td>Export Items</td> <td> Coffee</td> <td> Cars and Transport machinery</td> </tr> </tbody> </table> <p>答えだけでなく、「なぜそのように思うのか」という理由を求めるようにする。</p> <p>Comparison between two countries: Rwanda and Japan</p> <p>ルワンダは、内陸国で物資が不足しがちです。例えば、ルワンダ東部のキブンゴにある工業高校での実習授業では、道具や材料にいろんな工夫をしています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ソルガム（モロコシ、高キビ）の茎で作った模型</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビーマンで製図の実習</p> </div> </div> <p>ルワンダの輸入品目に着目をさせ、生活物資が不足しがちなことに気づかせ、ルワンダの人々の苦勞と工夫を感じさせる。</p>		Rwanda	Japan	Agricultural Products	 Banana	 Rice	Import Items	 Daily necessities	 Oil and mineral fuels	Export Items	 Coffee	 Cars and Transport machinery
	Rwanda	Japan												
Agricultural Products	 Banana	 Rice												
Import Items	 Daily necessities	 Oil and mineral fuels												
Export Items	 Coffee	 Cars and Transport machinery												
<p>展開3 (10分)</p>	<p>「ワークシートを見て下さい。(a)～(g)までの文を読んで、①日本に似ている、②昔の日本に似ている、③日本とは異なる、の3つに分けてみて下さい。」</p> <p>「各グループで、結果を比較してみてください。」</p> <p>「1つのグループに代表で、前で解答を発表してもらいます。」</p> <p>「なぜ、このように分けたのか教えてください。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人もルワンダの人も似ていて、優しいから。 ・ルワンダの人も携帯電話を使っていると思うから。 ・ルワンダでは医療施設が充実していないかもしれないから。 ・ルワンダの交通網は、発展していないと思うから。 <p>「解答を確認してみましょう。日本と比較しながら、ルワンダの人々の日常の様子を感じてもらえればと思います。」</p>	<p>スライド、ワークシート</p> <p>Comparison between two countries: Rwanda and Japan</p> <p>Put each statements about Rwanda into three groups: (1) Similar to Japanese (2) Similar to old Japanese (3) Different from Japanese</p> <p>a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers. b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot. c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes. d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning. e) In Rwanda so many people die from infectious disease. f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones. g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.</p> <p>ルワンダの人々と日本人の共通点について考えさせる。違いの中から、起業のヒントがないか考えさせる。</p> <p>Comparison between two countries: Rwanda and Japan</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Similar to Japanese</th> <th>Similar to old Japanese</th> <th>Different from Japanese</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers. b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot. f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones.</td> <td>d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning.</td> <td>c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes. e) In Rwanda so many people die from infectious disease. g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.</td> </tr> </tbody> </table>	Similar to Japanese	Similar to old Japanese	Different from Japanese	a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers. b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot. f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones.	d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning.	c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes. e) In Rwanda so many people die from infectious disease. g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.						
Similar to Japanese	Similar to old Japanese	Different from Japanese												
a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers. b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot. f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones.	d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning.	c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes. e) In Rwanda so many people die from infectious disease. g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.												

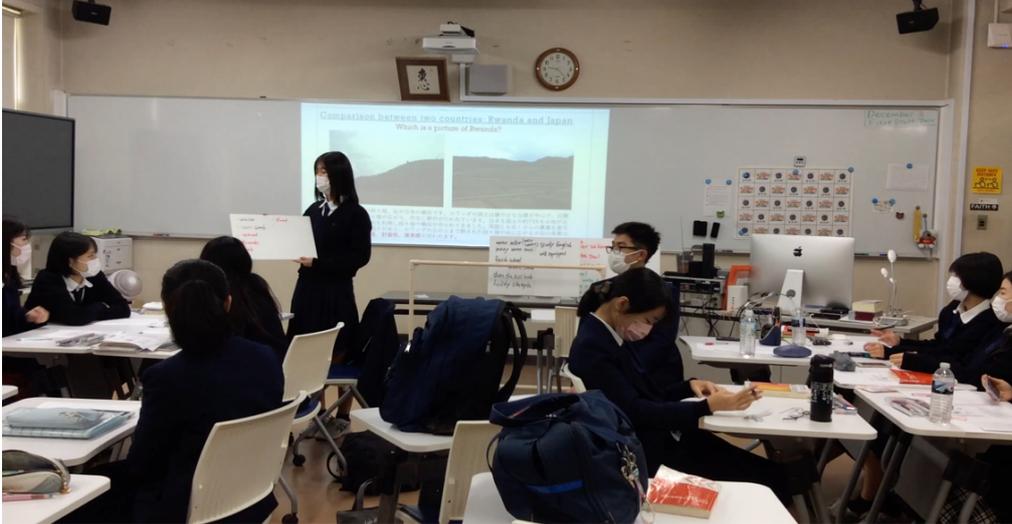
		答えだけでなく、「なぜそのように思うのか」という理由を求めるようにする。	
まとめ (10分)	<p>「この時間は、動画と資料を通してルワンダの人々の生活の様子について考えてもらいました。最後に、こちらの年表をみて下さい。日本とルワンダの歴史をまとめたものです。1962年～2003年に注目して下さい。ルワンダ内戦、という言葉がありますね。勤勉で、協調性のあるルワンダの人々が、ジェノサイド(大量虐殺)となる内戦を経験します。次回は、このルワンダ内戦について学びます。」</p> <p>「この時間で、ルワンダと日本の違いについて学んだことを英語で書いて、送信して下さい。」</p>	 <p>本時を通して、学んだことを英語で書かせる。</p>	スライド、ワークシート
<p>9. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)</p> <p>ルワンダで暮らす人々の生活や産業について理解し、日本との共通性や違いについて考えながら自分の意見を積極的に発表をすることができたか。(課題・観察)</p>			
<p>10. 学習方法および外部との連携</p> <p>予定していた講師の方の来校が急遽難しくなったため、JICA が提供するルワンダに関する動画や資料を参考に準備を行い、授業を行なった。グループワークを行なう際、小型のホワイトボードを使用したところ、生徒一人ひとりの考えが反映される活発な意見交換とスムーズな発表ができた。</p>			
<p>11. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取り組み</p> <p>GLC の授業取り組みとして、校内の先生方に授業を観察をしてもらい、感想と意見を頂いた。</p>			

【自己評価】

12. 苦勞した点	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりが活動に積極的に活動に参加できるように、分かりやすい説明をするように心がけた。ルワンダと日本の共通点と相違点に気づくことにより、問題点をより身近かにジブンゴトとして感じられるように心掛けた。 ・英語による活発な活動ができるように、ヒントを提示しながらグループワークが行われるように努めた。
13. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の授業でルワンダに関心を持つ生徒が増えており、生徒からの質問に対して十分な回答ができる準備ができていなかった。事前にしっかりと知識を持てるように準備をし、生徒の興味に応えられるようにする必要がある。 ・生徒一人ひとりにしっかりとグループで議論をしてもらう時間を取ることができなかった。時間配分や取り扱う内容について見直しが必要である。
14. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・ルワンダが抱える問題について、「自分たちは何ができるのか」と考えるきっかけをつくることができた。 ・ルワンダだけでなく、国際関係やボランティア活動に興味、関心を持つようになった生徒が増えたこと。

15. 学びの軌跡
(児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)

<授業後の生徒の感想(一部)>

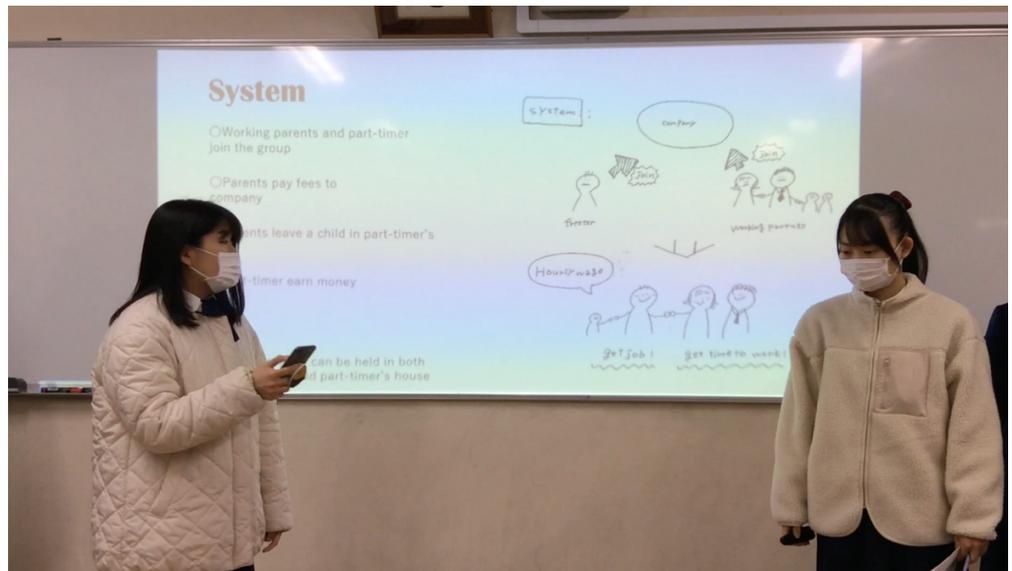


・ People in Rwanda think water is very important. They buy water from a water seller and they reuse used water when they do the dishes. They cannot use and drink water enough. If they want to drink water, they have to purify. Schools in Rwanda has many water tanks, but the water is not drinkable.

	<ul style="list-style-type: none"> ・ Rwandan use water more importantly than Japanese. I found family members in Rwanda have more communication with one another and work harder. For people in Rwanda water is most precious thing in their life. I think the difference between Rwanda and Japan is a lack of materials. Daily materials are necessary for all of them so we should send what they need. On the video clip the water even sold by a water seller seemed a bit dirty, but they try to make water clean. ・ People in Rwanda are in trouble for not having enough clean water to live. They spend 10% of living cost for water. I think English education is more advanced than Japan, but schools don't seem to have enough materials. There are many different jobs that we don't have in Japan. Rwanda is lack of daily necessities so they have to import them from other countries. People in Rwanda are kind and similar to Japanese ones. ・ I was surprised to find that schools finish before noon and students have to share one textbook in three. I thought we should keep in touch with them and try to do something to help them. ・ I was surprised to find that there are water sellers in Rwanda and people can use only 40 liters water each day. I thought why people in Rwandan family have dinner with one plate is for saving water and go to bed very early is for saving fuels for lights. ・ I learned Rwandan cherish water and the amount they can use in a day is limited. Also I was surprised class lessons in school are given in English. The life in Rwanda seems not to be comfortable for me, but I found people in Rwanda might be satisfied with their life.
<p>16. 授業者による自由記述</p>	<p>最後のクラスにおいて、3つのグループがこれまで学んだことを背景知識に、『働くシングルマザーのために子供を預かるシステム』、『IT を活用した農業システム』、『安全な飲み水を提供するシステム』のビジネスプランを Power Point を用いながら、発表をすることができた。いずれも、ルワンダの人々の心に寄り添う問題解決のアイデアであったと思う。ルワンダに限らず、世界の課題や多様性をジブングトとして捉え、「自分に何ができるだろうか」と常に考えながら、近い将来にアクションを起こせる人材に成長してくれることを期待している。</p>



<IT を活用したこれからの農業システムを提案>



<働く親を支援する託児所サービスの提案>



<教育を通して安全な水を提供するシステムを提案>

参考資料：

- ・財団法人愛知県国際交流協会
「世界の国を知る 世界から学ぶ わたしたちの地球と未来 ルワンダ共和国」
- ・独立行政法人 国際協力機構 JICA
<https://www.jica.go.jp/rwanda/index.html>
- ・駐日ルワンダ共和国大使館
<https://www.rwandainjapan.gov.rw/ja/>
- ・外務省
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/>
- ・ワールド・ビジョン・ジャパン
<https://www.worldvision.jp/about/rwa.html>
- ・映画 Hotel Rwanda (ホテル・ルワンダ)

GLC3 Special lessons for an international understanding

Series: Learn about the countries in the world and learn from the countries in the world



Class: 2

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

Which is a picture of Rwanda?



左がルワンダの段々畑、右が日本の棚田です。ルワンダの国土は緩やかな丘陵が中心で、丘陵の最上部まで段々畑が広がり、丹念に耕作が行われています。日本も国土の約73%を山地が占める山国で、傾斜を利用し段々畑や棚田が作られてきました。両国とも古くからの農業生産文化で培われた勤勉さがあり、ルワンダの丘の上まで耕された段々畑や谷に広がる水田の風景は、**ルワンダの協調性、計画性、清潔感**が伺われます。

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

Here are pictures of major agricultural products, export items and import items of Rwanda and Japan? Put these products and items into two groups of Rwanda and Japan.



Cars and Transport machinery



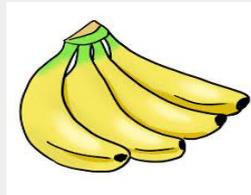
Oil and mineral fuels



Coffee



Daily necessities



Banana



Rice

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

Rwanda

Japan

Agricultural Products



Banana



Rice

Import items



Daily necessities



Oil and mineral fuels

Export Items



Coffee



Cars and Transport machinery

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

ルワンダは、内陸国で物資が不足がちです。例えば、ルワンダ東部のキブンゴにある工業高校での実習授業では、道具や材料にいろんな工夫をしています。



ソルガム（モロコシ、高キビ）の茎で作った模型



ピーマンで
製図の実習

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

Put each statements about Rwanda into three groups:

(1) Similar to Japanese (2) Similar to old Japanese (3) Different from Japanese

- a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers.
 - b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot.
- c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes.
 - d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning.
- e) In Rwanda so many people die from infectious disease.
 - f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones.
- g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.

Comparison between two countries: Rwanda and Japan

Similar to Japanese	Similar to old Japanese	Different from Japanese
<p>a) People greet one another, and kindly show the way when they see strangers.</p> <p>b) Milk and yogurt are sold at grocery stores, and Rwandan drink them a lot.</p> <p>f) In Rwanda lots of people make use of cellular phones.</p>	<p>d) People get up early and clean up around their houses. They are hard workers. Even kids go to school early in the morning.</p>	<p>c) About 80% of the energy consumption of the whole country is made from burning woods and charcoals, which are mainly use at homes.</p> <p>e) In Rwanda so many people die from infectious disease.</p> <p>g) In Rwanda major means of transportation is micro-buses and bike-taxis.</p>

その頃日本では…

		王国時代 19世紀になって「ツチ」「フツ」という「職業階級が現れました。王に仕える支配階級が「ツチ」、それ以外のものは「フツ」。王の地位は絶対で、家畜・土地・軍事の3つのチーフを通じて統治される極めて中央集権的な王国でした。チーフは慣習的に「ツチ」が務めました。しかし、「ツチ」と「フツ」の境界線は、絶対的なものではなく、一般の人々は、同じ土地に住み、共生していました。一方、建築、芸能、工芸など、現代のルワンダ文化の基礎となる固有の文化が、この時代に形成されました。
		植民地時代～独立 宗主国のベルギーによって、以前から存在していた社会的階級が不平等な「民族」に制度化されました。牛の所有数や外見で、「民族」が決定されたのです。宗主国は自国の利益のために「ツチ」「フツ」の「民族」を対立させ、少数派である「ツチ」を優遇しました。しかし、独立の機運が高まってくると今度は多数派の「フツ」と手を組んだため、流血や何千人もの国外強制退去という結果を招きました。
1964年 東京オリンピック開催 1970年 日本万国博覧会開催 1971年 沖縄返還調印 1978年 成田空港開港 1989年 昭和天皇崩御 1991年 雲仙普賢岳噴火 バブル経済の崩壊 1992年 日本人初の宇宙飛行士 1994年 関西空港開港 自衛隊ルワンダPKO派遣 1995年 阪神・淡路大震災 1998年 長野冬季オリンピック	1962年	ベルギーがルワンダの独立を承認
		独立後～ジェノサイド (大虐殺) 独立後の「フツ」政権は一党独裁体制を制度化し、統治手段として組織的に「ツチ」の排除を行いました。これは30年以上にわたって何十万人ものルワンダ難民を生み出すこととなりました
	1990年	ルワンダ内戦へと突入
	1994年	大虐殺終結 戦争の平和的解決を強いられた政権は、体制維持のために「ツチ」と穏健派「フツ」の組織的排除を計画し、これは1994年の大虐殺へとつながりました。この大虐殺は、国中を混乱に巻き込み、3ヶ月の間に数十万人もの死者を出す大惨事となりました。 ジェノサイド後～現在
2005年 愛知万博開催	2003年	国民投票によって新憲法を採択 ポール・カガメ新政権が誕生 現在も依然として不安定な要素が残ってはいますが、10年以上、平和と着実な再建と開発が続いています。